

2年 道徳通信

〇〇〇立〇〇〇中学校
2年 〇組担任 〇〇〇〇

◎「今日の道徳授業」の紹介

教材名 26「赤土の中の真実」

ねらい： 真実を見極めようと、精励し続けた相沢さんの生き方を通して、真実や真理を求め、探究し続けようとする意欲を育てます。

■教材の内容について

1946年当時、日本の考古学の世界では、火山灰の降り積もる時代には人間はいないというのが定説でした。そんな中、相沢さんは火山灰が堆積した関東ローム層の赤土の中から奇妙な形をした小さな石片を発見し、その時代に人間が住んでいたのではないかという疑問を抱きます。心ない人たちからの中傷を受けながらも、真実を求め抜く地道な活動を続けた結果、旧石器時代の存在を確定的にし、歴史を変えることになったのです。この相沢さんの姿が、新たな発見に繋がり社会の進歩・発展に寄与しているという身近な事実から、生徒もその生き方をより身近に感じ、学んでいけると思われます。

■生徒の実態について

中学生の時期は、人間としての生き方や社会の仕組みなどに関心が高まり、嘘や偽りを憎み、真実を求め真理を探究しようとする思いがより強くなります。一方で、一面的な見方になり「これしかない。」と思いつき、ほかの見方や意見を受け入れないこともあります。また流行やうわさ、メディアからの情報に敏感な余り、真実を確かめずに簡単に信じてしまうこともあります。真実や真理の探究に大切なことや、それによって得られるものは何か考えられるようにしたいです。

■ご家庭へ

新しいものの発見や創造は無から突然生まれるものではなく、好奇心を寄せ、疑問や分からないことにこだわり続け、物事の真実の姿を探り見極めようと格闘し続ける探究の中で育まれてきました。中学生の時期には、真実を求め、真理を探究しようとする思いが一層強くなります。しかし、学習の成果が出ないことで努力を諦めてしまったり、早急に結論を求める余り、一面的な考えにこだわったりする生徒もいます。ご家庭では、真理の発見に貢献した科学者の事例について話をしたり、科学館や博物館などに行って好奇心を高めたりして、疑問や問いを探究し続けることが新たな見方や考え方の発見につながることを実感できるようにしていただきたいと思います。

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・キリトリセン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

◇ご意見やご感想、家庭でお子さんと話題にしたことなどぜひお寄せください。()